

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	医学英語を学ぶ
作成者（著者）	橋本, 郷史
公開者	日本医学図書館協会
発行日	2019.09.01
ISSN	04452429
掲載情報	医学図書館. 66(3). p.151 152.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	広場
著者版フラグ	publisher
メタデータのURL	https://mylibrary.toho u.ac.jp/webopac/TD28669427



医学英語を学ぶ

橋本 郷史*

東邦大学医学メディアセンター

I. はじめに

医学図書館の特集にあわせて個人的な英語の学習方法について書かせていただくことになりました。TOEIC など一般的な英語の学習方法については、他の方の良質な記事があると思いますので、私は他にあまり書く人がいないであろう医学英語の学習方法について書かせていただきます。

1. マイスペック

自分の英語関係のスペックと経験を書いておきます。TOEIC Listening & Reading Testのスコアは845です(2017年3月, 第218回)。日本医学英語検定の4級に合格しています(2017年6月, 第10回)。この検定の4級とは、「基礎的な医学英語運用能力を有するレベル(医科大学・医療系大学在学あるいは卒業程度)」¹⁾とされています。また、2017年6月に出版したNLMC日本語版の翻訳をWGメンバーとして担当しました。

その他は英語に関する級や経験(留学など)はありません。書いたり話したりはほとんどできないけれど、読んだり聞いたりはある程度なんとかなる、というレベルです。

2. 医学英語の学習目標

医学図書館員の業務で、医学英語を使った執筆や会話の能力が必要とされることはないでしょう。また、医学分野の英語論文を通してスラスラ読めるようになる必要もないと思います。

業務に即した範囲で考えると、医学英語の最初の学習目標は、とてもささやかではありますが、雑誌や本のタイトルで分野がわかる、レファレンスの際に英語論文を出されてタイトルやアブストラクトから内容の想像がつく、PubMedの検索結果がおおまかに理解できる、といった“ちょっと読めるようになる”程度で十分だと考

えます。そこで本稿では、医学英語が“ちょっと読めるようになる”学習方法を紹介します。

II. 医学英語の学習方法

読めるようになるための医学英語の学習は、単語を覚える、ということに尽きます。本章では、医学英単語の特徴や、学習のコツ、おすすめの学習教材を紹介します。

1. 医学英単語の特徴

医学英単語はギリシア語やラテン語の影響が色濃く、現代英語とは異なります。独特の構造を持っているため、効率的に学習するにはその構造を覚えることが重要です。詳しくは後述のおすすめテキスト内の説明をご覧ください。以下にその構造を簡単に紹介します。

医学英単語の多くは「接頭辞+語幹+連結形+接尾辞」というパーツで構成されています。意味の中心は語幹で、そこに、意味を修飾する接頭辞と接尾辞がつきます。接続された語の間をつなぐのが連結形です。語幹や接頭辞・接尾辞には頻出パターンがあり、それを覚えると、初めて見る単語でもある程度意味を予測できるようになります。

例えば、gastrology(胃病学)は、gastr(語幹:胃)+o(連結形)+logy(接尾辞:学問)という構成です。接尾辞が変わってitis(炎症)となるとgastritis(胃炎)、語幹にenter(腸)が加わるとgastroenterology(胃腸学)となります。

2. 学習のコツ

最初から骨や筋肉の種類や細胞の名前など細かい単語まで覚えようとする大変です。以下のような順序で、全体像を把握しながら大きな部分から徐々に細部へ学習を進めるのがよいと思います。

系・診療科(例:循環器,呼吸器)>器官・部位(例:心臓,食道,腎臓)>疾患(例:白血病,肺炎,胃潰瘍)>診療・症状に関する単語(例:超音波検査,高血圧,めまい)>さらに細かい単語

また、話したり聞いたりすることが目的でなくても、

*Satoshi HASHIMOTO:ヘルスサイエンス情報専門員(中級)
〒143-8540 東京都大田区大森西5-21-16. Tel.03-3762-4151(2444)
hashimoto@mnc.toho-u.ac.jp (2019年7月16日 受理)



発音しながら学習するほうが記憶に定着しやすいと思います。単語の発音を確認し、口に出しながら覚えることをおすすめします。ただし、医学英単語には独特の発音をする単語が多く存在します。(diabetesを初見で正しく発音できた人はいるのでしょうか?) 医学英単語の発音を確認する方法は次の項の中で紹介します。

3. おすすめの学習教材

1) テキスト

ただひたすらに単語を覚えるのは苦痛です。また、医療従事者向けの医学英単語学習本は語数が多く、とても覚えきれものではありません。そこで、以下のような、医学の基礎的事項を簡単な英文で紹介している資料がテキストとして最適であると思います。

「やさしい医学英語」²⁾は、人体の系・部位別に、その構造と関連する疾患を英語で解説しています。単語も適切な量が載っており、語の成り立ちや、頻出する語幹・接頭辞・接尾辞についても説明されています。

「やさしいメディカル英語」³⁾「医療従事者のための医学英語入門」⁴⁾「学生のためのカレントメディカルイングリッシュ」⁵⁾も類似の内容ですが、より読み物的な色合いが濃く、気軽に読めると思います。

「医学・医療系学生のための総合医学英語テキスト」⁶⁾は、2分冊のテキストで、臨床を意識し、現場で遭遇する症状や疾患をトピックとして構成されています。また、ダウンロードして利用できる問診の会話などの音声データが用意されています。

2) Web サービス

発音の確認は重要と述べました。しかし、一般的な英語辞書は医学英単語をカバーしていないことも多いです。一方、専門の医学辞書は高価で少々手が出しづらいと思います。

以下の英英辞書のWebサービスは、無料でありながら必要十分な量の医学英単語の発音を、音声と発音記号で確認することができます。ベースになっているのはOxford University Pressの辞書です。

・LEXICO. <https://www.lexico.com/en>

また、テキストを読み終わってしまった、覚えた単語を実地で確認してみたい、という方には、以下のWebサービスがおすすめです。医療全般や疾患に関する様々なトピックを、比較的平易な英語で大量に読むことができます。

・MedlinePlus. <https://medlineplus.gov/>

なお、学習の参考になるWebサービスは他にもたくさんあります。例えば、WHOのサイトや有名医学雑誌のポッドキャストなどもとても参考になると思いますが、ここでは“初学者レベル”で“読む”ことを基本にしたサービスとして上記を紹介しました。

Ⅲ. 医学英語のテスト

学んだ成果は試してみたいものではないでしょうか。日本国内で受けられる医学英語のテストは私の調べたところ3種類ありました。日本医学英語検定と国際医療英語認定試験(CBMS)、The Occupational English Test(OET)です。イメージ的には、それぞれ、英検、TOEIC、TOEFLといった感じです。

ただし、後者2つは医療従事者のみを受験者として想定しているようです。日本医学英語検定は、「医師や看護師など医療従事者や医療系学生の方のもとより、教育、出版、翻訳、通訳などの業界に携わる方々など多様な受験者層を想定」¹⁾しているとのこと。私も受験した4級は、医学知識を抜きにした問題設定になっており、医学図書館員の腕試しには格好の試験だと思えます。

Ⅳ. 最後に

医学英語の学習方法について、簡単ではありますが紹介させていただきました。これからやってみようと思っている方にとって少しは参考になる部分がありましたら幸いです。

私も勉強した、業務でこんなふう役に立った、この参考書・このWebサービスがよかった、など、医学英語の勉強・実践の体験をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡ください。

参考文献

- 1) 日本医学英語教育学会. 日本医学英語検定試験 第12回応用級(3級)・基礎級(4級)試験 受験要項[internet]. https://www.medicalview.co.jp/JASMEE/index_c34.php [accessed 2019-07-25]
- 2) 青野淳子, Considine DP. やさしい医学英語: Introduction to medical English. 東京:医学書院;2006.
- 3) 高木久代. やさしいメディカル英語. 東京:講談社;2018.
- 4) 清水雅子. 医療従事者のための医学英語入門. 東京:講談社;2011.
- 5) 飯田恭子, マーシャル スミス. 学生のためのカレントメディカルイングリッシュ. 第4版. 東京:医学書院;2017.
- 6) 日本医学英語教育学会. 総合医学英語テキスト:医学・医療系学生のための. Step1, Step2. 東京:メジカルビュー社;2016.